

# 保護者説明会概要

## 第1 学校の再編にかかる保護者説明会スケジュール

開催日時	開催場所	参集対象地区
10月23日(月) 19:00~20:10	綾木公民館 研修室	主に綾木小学校校区
10月26日(木) 19:00~20:04	真長田公民館 ホール	主に淳美小学校校区
10月31日(火) 19:00~20:33	美東センター 大会議室	主に大田小学校校区

## 第2 保護者説明会開催の周知方法

小・中学校保護者	学校を通じ児童・生徒から	237名
未就学児保護者	個別に郵送	98名
各小・中学校長	個別に逡送通知	4名

## 第3 出席者数

	出席者	左の内訳				市出席者
		幼・保 護者	小・保 護者	中・保 護者	学校職 員	
10/23 綾木	19	1	14	5	2	<b>教育委員会事務局</b> ・教育長・事務局長・教育創生監・教育総務課長・学校教育課長・教育総務課総務班長 <b>市長部局</b> ・総務企画部長・市民福祉部長・美東総合支所長
10/26 淳美	24	5	22	7	2	<b>教育委員会事務局</b> ・教育長・事務局長・教育創生監・教育総務課長・学校教育課長・教育総務課総務班長 <b>市長部局</b> ・総務企画部長・市民福祉部長・美東総合支所長
10/31 大田	24	10	13	3	2	<b>教育委員会事務局</b> ・教育長・事務局長・教育創生監・教育総務課長・学校教育課長・教育総務課総務班長 <b>市長部局</b> ・総務企画部長・市民福祉部長・美東総合支所長
合計	67	16	49	15	6	※内訳は重複しているので合計と合わない

## 第4 地域説明会次第（要旨）

### 1 開会（局長）

### 2 教育長あいさつ（教育長）

改めまして皆さん今晚は、仕事でお疲れのところ、また御多用の中、美東地域の小学校再編に関わる保護者説明会にお集まりをいただきましてありがとうございます。

平素から美祢市教育行政の推進に御理解と御協力をいただき、特に小学校の教育活動につきましては、保護者の皆様方に格別の御支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、このたび、令和5年6月9日付けで、美祢市立小中一貫教育校、美東小中学校に関する要望書が提出され、美東中学校育友会、大田小学校、綾木小学校、淳美小学校の各PTA役員会、美東小中学校学校運営協議会と協議を重ねてまいりました。

そして、できるだけ早く、施設一体型、美祢市立小中一貫教育校、美東小中学校を設立するために、まずは、大田小学校の校舎を利用して、令和7年4月に、3つの小学校をまとめた新たな小学校を開校するという事で合意しましたので、そのことにつきまして、教育委員会及び関係部局から説明に参りました。

地域の誇りであり、心のよりどころである小学校が遠くになってしまうのは、万感胸に迫るものがございますが、保護者の皆様方が、何よりも子供たちの幸せを一番に考え、大切に思って決断されたことと敬意を表します。

これからの時代を担う子供たちのために、一人一人の子供がかげがえのない良さや能力を発揮し、お互いに認め合い、支え合いながら、よりよく成長できるように環境を整えるのが私たち大人の責務であると考えています。

施設一体型小中一貫教育校の設立は、美祢市でも初めての取組でございます。

子供たちの幸せを一番に考え、保護者や地域の皆様にとっても誇れる魅力ある新たな学校をつくるため、美東町民の皆様や学校・行政がともに協力し合い、様々な立場から知恵を出し合いながら、一丸となって取り組んでまいりたいと考えています。

地域を超え、大人同士が協力し合ってこそ、新しい学校の子供たち同士が共に認め合い、助け合い、励まし合うことができると信じています。

ただ、令和7年4月に新しい学校が開校するには、もう、待たなしの状況でございます。

まずは子供たちや保護者の皆様方が安心して、令和7年4月を迎えることが出来まますように、不安や疑問に思っておられることなどを解決しながら歩みをとめることなく、開校に向けての準備を着実に進めていかななくてはなりません。

3校のこれまでのすばらしい歴史と伝統を踏まえながら、子供ファーストで子供たちの笑顔が輝き、誰もが安心して学べる魅力ある学校の設立に向けて、学校、家庭、地域、行政がしっかりと協議を深め、共通理解を図りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は大変お世話になります。

### 3 説明事項等

#### (1) 児童・生徒数の推移について（教育総務課長）

それでは、「(1) 児童・生徒数の推移について」資料に基づき、教育総務課から説

明させていただきます。

まず、お手元の資料、次第の次のページ資料1を御覧ください。

この資料は、上段に3小学校の児童数の推移と美東中生徒の合計、下段に令和3年度を基準とした増減比較した資料になります。

左側から、令和3年度、一昨年度になります。次に4年度、続いて、令和5年度の今年度です。それから令和6年度以降の見込をお示ししております。

まず、上段の3小学校の児童数の推移を御覧ください。

綾木小学校については以前から複式学級ですが、淳美小学校においては昨年度の令和4年度から4・5年生が複式学級となり、令和5年度においては2・3年生と5・6年生が複式学級となっています。

令和9年度においては大田小学校も2・3年生が複式学級となる人数となっています。

説明は以上です。

## (2) 美祢市における小中一貫教育について（学校教育課長）

引き続き資料1枚めくっていただきまして、資料2という閉じ込みの大きな紙を閉じ込んでおるところをお開きください。それから引き続きですね、その次に、ちょっと子供たちの写真が、スライドが載っているもの、この2枚をですね使って御説明をさせていただこうと思います。

美祢市の小中一貫教育ということにつきまして、令和3年度に美祢市の小中学校管理規則というものを改正いたしました。

規則を改正して、正式に小中一貫教育校というものがスタートしておるのが美祢市の現状でございます。

では一体こういったことをしているのかということですけど、最初のこの大きな表のようなものをご覧ください。これ我々学校地域連携カリキュラムと呼んでいるものなのですが、1番上に、カリキュラムと書いてありまして、2段目にですね、「ふるさと美東を愛し、夢に向かってたくましく生きる子供」と書いてございます。これは、美東中学校、それから、大田、綾木、淳美この4校が全てこの教育目標に向かって、今、子供たちを育てて、これ、当たり前のようなことでありますが、なかなかこういうことが今までなかった。一つの目標に向かって子供たちを、小学校中学校の先生方がみんなで力を合わせて育てていく。

そして、保護者や地域の方と一緒に、子供たちもそこに参画してっていうのが小中一貫教育でございます。

右側をご覧ください。

表の1番右側につけたい力っていうふうなことが書いてあります。下のほうに、小学校の間にはですね、まず、先ほどの目標を達成するために、ふるさと美東の様々なよさに触れる、そして、自分の住む地域に関心を持てるように、子供たちを育てていきましょう。

それが小学校高学年5、6年生になりますと、今度はちょっとレベルアップしまして、ふるさととのつながりを大切に、自ら地域と関わり合おうとする気持ちを持てるような子供を育てましょう。

そして、それが引き続き、中学生に上がりますと、中学校の2年生、3年生になる

と今度は、ふるさと美東に思いを寄せて、地域のために貢献できる、今度は行動を起こす、そういうような子供たちを育てましょう。

そういった一環で先日の、銅山まつりも美東中の生徒さんが非常に活躍したと聞いております。

こういった目標を持って、子供たちを、小中で先生方がちゃんと見通しを持って育てていく。中身をちらちらとご覧になりますと、横に帯がありまして縦にも少し帯があるのがお気づきになるのではないかと思います。

縦の帯は小学校3校で、せっかく小中一貫教育で同じ所、美東小中学校の仲間なのだから、一緒にやりましょうということです。小学校低学年の町探検は一緒にやりましょうとか、小学校の4年生の2分の1成人式は一緒にやりましょうというようなことで、そういう小学校同士、同じ美東中学校区の小学校同士も小・小の連携も進んできている。こういう現状がございます。

こういったカリキュラムを持って、みんなが目標を一つにして、子供たちを育てていく。当たり前のようにありますけれども、今までは、小中これを別々に一生懸命やっていたということでございます。それが、やっぱり、同じ子供が育っていくのだからみんなで力を合わせてこういうものに、しっかりみんなで知恵を出し合いながら、改善しながらやっていきたいと思います。小中一貫教育を進めております。

めくっていただきまして、少し子どもの姿を見ていただきまして、具体的にスライドの1、左上ですね。御存じの方も多いかと思えますけれども、美東中学校での、小学校の高学年の切磋琢磨合同事業の実施の様子でございます。

3小の高学年が集まって、英語科を中心に切磋琢磨する事業を毎週水曜日、基本的に毎週水曜日取り組んでおります。これも小中一貫教育の一環でございます。

この中で、やっぱり日頃会話をすることのない友達と切磋琢磨しながらですね、多様な学びを体験して、子供たちの評判は非常にいいということでございます。

右側、子供が関わると当然先生方も関わります。3小合同事業の前後にはですねこういうふうに、左側の先生が中学校の先生で背中を向けて座っておられるのが、小学校の先生、こういうふうに、先生方の交流っていうものも生まれてくる。

写真にはございませんけれども、校長先生方も月に1回、小中一貫教育校で集まって、子供たちをどう育てていくのか、連携の会議を始めておられます。

そういったところが、小中一貫教育校になった要素とっております。

左下、先生や子供たちがつながっているだけではなく、地域の組織も、つながっています。主な組織が二つございますが、左側の学校運営協議会、これも美東中学校区で一つの学校運営協議会を作っていただいております、学校運営の相談に乗っていただいている。

そして、地域の子供は、しっかり学校だけじゃなくて、みんなで育てるよってというのが右側の地域教育ネットでございます。これも、美東中学校で、一つの地域教育ネットを作っていただいております、美東こぶっちゃんネットを作っていく。そういったことになっております。

そして、最後右下の写真は、今後、美東小・中が距離的にも近くなったら、いろいろなまた可能性が広がるのではないかとということで、一つ例をお示ししています。

これは、伊佐小・中の様子でございます。伊佐小・中は、小学校と中学校が歩いて行ける距離にありますので、よく小学校の中で見られている縦割り班活動、1年生から6年生までの縦割り班活動を、中学校3年生から小学校1年生までの、縦割り班活動をやっておいて、1学期に1回ずつはいさゆめタイムということで、小学校1年生

から中学校3年生までが交流したり、ゲームをしたり、地域清掃に出て地域貢献をしたりというようなことを進んでやっておられる。こういったことも小中一貫教育校の可能性、それからまた美東小中がさらに距離が近くなれば、こういった可能性っていうのがまた広がってくるのかなというふうに考えておるところでございます。

いろんなアイデアや知恵を出し合いながら、子供たちの9年間の学びというのを、つくっていきけるというふうな仕組みが出来ているということの紹介でございます。

以上です。

### (3) 美東地域における3小学校の再編について（教育総務課長）

それでは、「(3) 美東地域における3小学校の再編について」、私から説明させていただきます。

先ほど、美東地域の3小学校の児童・生徒数の推移を説明させていただきましたとおり、全体的に子ども的人数は減少傾向にあります。

これは、お示した学校に限らず、市内全体で同様の傾向にあり、美祢市においては、おおよそで年間50人が減少するペースが続く状況となっております。

市といたしましては、人口定住対策を最重要課題として位置付け、道路網やライフラインの整備、企業誘致はもとより、子育てしやすい環境の整備に鋭意取り組んできておりますが、想定を上回るスピードで人口減少が進んできている現状となっております。

この傾向は、美祢市に限らず、全国的にも同様な傾向が続いており、今後も継続すると見込まれています。

美東地域においては小規模校のデメリットとされる「多様な意見や考えにふれる機会」が少ないというような課題についても小中連携の取組による小学生との関わりや地域の方々との交流等に積極的に取り組まれており、子どもたちもしっかり地域に根をおろし、健やかに育っていると思っております。

このような中、美東中学校区においては、令和3年度から小中一貫教育の先進地域として先行して進めてきており、保護者の方々にも小中一貫教育を進めるべきだとの理解も広まってきているところです。

しかし、現在の美東小中一貫教育は施設分離型であり、一貫教育の乗り入れ時の移動に時間がかかっている現状があり、そのことを解消したいとの声もありました。

**資料3**を御覧ください。令和5年6月9日付けで美東中学校育友会会長、大田小学校PTA会長、綾木小学校PTA会長、淳美小学校PTA会長の連名で美祢市長、教育長宛に「美祢市立小中一貫教育校美東小中学校に関する要望書」が提出されました。

**資料4**を御覧ください。市長とも協議を行い、保護者団体の役員方と8月10日に協議を行い概ね合意形成がはかられました。

その後の8月22日に以前から協議をさせていただいていた美東小中学校学校運営協議会と協議を行った結果、合意形成ができなかったため、再度市長協議を行いました。

**資料5**を御覧ください。10月2日に再度学校運営協議会と協議を行いました結果、できるだけ早く小中一貫教育校美東小中学校の施設一体型を目指し、先ずは、大田小学校の校舎を活用して、3つの小学校を1つにして新たな小学校の新規設置を

令和7年4月とすることで合意しました。

子どもたちのためにと熟慮された保護者の皆様の思いをしっかりと受け止め、本日説明をさせていただいているところです。

資料6のとおり主に太字となっているところが関係するところでございますが、大変期間は短いですが開校準備協議会を立ち上げて新しい学校名、校章、校歌、制服、通学支援等を決めていかなければなりませんし、PTA組織についても再編成が必要になると思われます。

詳しくは4その他(1)今後についてのところで説明させていただきます。

教育委員会事務局といたしましても、引き続き、美祢市で子どもを生み育てたいとっていただけるような、魅力と活力に満ちた学校環境の整備を最優先として、取り組んでいきたいと考えております。

どうか、保護者の皆様にも、この再編に御理解と御協力をお願いしたいと考えております。

説明は以上です。

#### (4) 事前の要望及び質問における回答について

ア 今後設定される協議会は保護者の細やかな意見を吸い上げられるような組織構成と回数を設定していただきたい

回答：学校とも相談して、要望に沿えるように考えていきたいと思っております。

イ 保護者向けに「小中一貫教育校に関する勉強会」及び先進地の視察を企画してもらい、理解を深められるようにしたい

回答：開校準備協議会の中で開催に向けて話をしていけたらと考えております。

ウ 今回の事を美東地域のまちづくり（将来ビジョン）とどのように絡めて考えているのか

回答：今年度からはじまる美東総合支所の整備にあたり、地域住民を対象としたWSを平成31年度から開催し、施設のあるべき姿について議論を重ね、新たな拠点が備えるべき要素として、「みんなが気軽に集える場所」「様々な活動を展開する場所」「みんなをつなぐ情報拠点」「くらしを支える場所」と4つの要素を位置付け整備に取り組んできたところです。

また、総合支所周辺には、保育園や小中学校の子育て・教育施設が隣接することから、総合支所周辺を子育て・教育エリアとし、総合支所に子育て・教育に特色を持たせた総合支所となるよう計画を進めています。

さらに令和3年度に開催された、大田地域のまちづくりワークショップにおいても、総合支所周辺を教育・子育てエリアとし、集約・整備を進めたいと考えていることから、この度、3つの小学校が統合されることを踏まえた、安心・安全で住みよいまちづくりを進めてまいりたいと思っております。

エ 児童が急な体調不良になった時の対応を考えて欲しい

回答：緊急の場合は校長判断で救急車対応いたしますが、救急車を呼ぶほどではない場合で例えば、早急な対応が必要な判断の場合は、保護者に連絡をさせていただいて、学校でタクシーを呼んで病院に連れていき、連れて帰るというよう

な対応をとります。タクシー料金についてはこれまでどおり教育委員会において措置するという事になります。

しかし、体調不良で保健室で様子を見ただけでも授業に復帰できない状況であれば従来どおり保護者やご家族の方にお迎えをお願いするようになろうかと思えます。

スクールバスやスクールタクシーは予約等が必要で、緊急時の対応には不向きなものでありましてそのあたりの対応はなかなか難しいと考えております。

オ スクールバスの下校時は低学年便と高学年便をつくってほしい

回答：今回の再編にかかる通学支援についてはスクールバスでの通学支援を考えておりまして、来年度に購入して令和7年4月から運行できるようにしたいと考えております。

下校便につきましては現在でも2便を設定して運行しているところもございます。

2便運航は往復することになり、1便が帰ってきてからの2便という事になると思いますが、可能な限りご要望に沿えるようにしたいと考えております。

通学支援につきましては開校準備協議会でお示しさせていただく予定ですが、個別具体的な案件は個別に相談させていただくこととなります。

カ 令和6年4月から1～4年生も交流事業をしてほしい

回答：学校とも相談して実施に向けて検討をさせていただきたいと思えます。

## (5) 説明会時の質問と回答について

キ 開校準備協議会が始まった時点で教育委員会（案）が固まっていて変更の余地がないというようなことはないか。特にバスの予算などが気になる。

回答：スクールバスの予算は現在では最大の2台で考えています。それまでに決定できれば反映させますが、未決定事項は余裕を見ながらの計上になると思います。開校準備協議会でバスのルートなどをお示しして協議させていただき、令和7年度の4月から運行する予算を令和7年度予算に計上したいと思えます。

ク 施設一体型は求める条件だが、この施設一体型が新校舎なのか現校舎改築なのかの議論よりも、魅力あるカリキュラムを組むことが大切であり重視しているので、斬新な魅力あるカリキュラムを組むことで魅力ある学校にして人を呼び込みましょうというのが趣旨です。

「ウ」のまちづくりビジョンの話もハードだけの問題ではなくハードを含む魅力ある学校づくりを核としたまちづくりの事です。

時間がない中、小中一貫の理解の浸透のためにも直ぐにでも保護者の小中一貫の視察等を行ってほしい。

回答：ご趣旨はわかりました。検討させていただきたいと思えます。

ケ 他の隣接している市町から都会の小中学校になじめない子どもを受け入れるとできないのですか。そういう受け皿になるようなことはできないのですか。

回答：市町をまたいでということになると特別な手続きが必要になりますが、市内であればそれに比べるとハードルが低く設定できると思います。

全国や全県に向けてということになると特例校という事になるので、条件等がありすぐという事にはなりません、そういったことも魅力として出していけないかという事は検討していくところだと思います。

コ バスは何人乗りを購入する予定なのですか。小学1年生では不安だが補助員は同乗しないのですか。他地区はどうですか。免許は二種免許ですか。

回答：場合によっては1台になる可能性もありますが、25人乗り2台のスクールバスを追加購入する予定としています。

なお、免許は二種免許（一種免許の誤りです。）となります。

サ 開校準備協議会の保護者の人数は何人ですか。

回答：今回は3校での協議会なので全体数が多くなるのでまた学校と相談させていただきながらになると思いますが、参考までに今までの事例では、各学校からの保護者は2名となっております。

シ 今後の事になりますが、放課後児童クラブはどう考えていますか。

回答：現在は大田と綾木と真長田にそれぞれ児童クラブがあります。

面積等で基準があるので3つが1つになると定員を超えてしまいますので、今ある児童クラブは存続していただきスクールバスで児童クラブに移動していただくことになります。

大田の児童クラブに行くことになればそこまで保護者の迎えが必要になるという事もあり、また皆さんで御協議お願いしたいと思います。

ス 児童クラブは現在、大田が直営だと思いますが、方式は変わらないという事でしょうか。

回答：綾木・真長田は委託であり、大田の児童クラブを直営ではなく協議会方式に変更していただきたいと考えています。

セ 保育園の問題は何かありますか。

回答：令和4年7月に保育園の再編基本方針というのを定めていまして、旧美祢地域には厚保保育園と伊佐保育園がございますが、厚保については近隣に民間の施設がないため存続を考えていますが、伊佐保育園には近隣に民間施設がありますので、今、通園されている園児が卒園されれば閉園の予定で進めています。

秋芳地域につきましては秋吉保育園と秋芳桂花保育園があり、当面はこの2園で存続する予定です。

美東地域につきましては大田保育園と真長田保育園がありますが、大田保育園については時期未定ですが園舎を新しくしたいと考えています。

総合支所の建設に係るワークショップの中でも話が出ておりまして、美東センターを解体した跡地や新総合支所の南側のグラウンドの話があり、小学校、中学校、総合支所の辺りを子育て文教エリアとしてその中で建て替えればというのがワークショップで出た意見でありまして、それについては市長まで報告が上がっています。



しかし、現在美祢市は庁舎や総合支所、給食センター、衛生センターなど大型事業が続いている状況でありまして具体的には決まっておりません。

また、真長田保育園につきましては令和6年度中に方針を決定したいと考えています。

ソ 校名の決定は、学校運営協議会では2つに絞られているという話を聞いていますが。

回答：通常でしたら公募を行って候補の中から決定していただくという方法なのですが、今回は公募にしますと、スケジュール面から考えるとかなり厳しいのと今回の場合はあまり悩む要素はないように思いますので、なるべく早い段階で合意形成が得られるようにお諮りしたいと考えています。

タ 準備協議会では保護者は何部会になるのでしょうか。

回答：保護者に関係する部会に所属していただくこととなります。例えば資料3にありますPTA部会が対象となります。

チ 真長田保育園の存続は存続の意見が多ければ前向きというところらえ方でよろしいか。

回答：令和6年度中の方針決定の協議の中で真長田地域に保育園を残して欲しいという事になれば残す方向で進みたいとは思っておりますが、どのような形でということは様々な協議をさせていただきながら合意形成を図り、一番良い形で続けていけたらと考えております。

今現在でどうするという事は言えませんが、方針決定の中で様々な協議をさせていただき、その意見を尊重していきたいと考えています。

ツ 部活動の地域移行を先行して行っているところですが、美東のテニスコートの新設の要望の声が大きく状況が非常に良くないので整備してほしいという要望がある。

回答：他の方からもこの要望はお伺いしているところでありまして、業者から見積りを取るなどして検討をしているところです。

テ 真長田の児童クラブは児童数が減ってきています。楽しくないと行きたくなくなり児童数が減って行って無くなった場合に大田の児童クラブは受け入れてくれるのでしょうか、その際の送迎はどうなるのか伺いたい。

回答：ご家庭で面倒を見ることができる人がいないご家庭の児童を預かる施設ですから、友達が多い少ないから行く、行かないという話にはならないのですが、児童クラブに預ける必要があって人数が少なくなった時には大田での受け入れというのは当然可能にはなろうかと思えます。

学校がある日は大田の児童クラブに通われるとお迎えも大田に行くようになろうかと思えます。

夏休み期間中等の送迎についてはここで確定したことは申しあげられませんが、児童クラブでの送迎はどこも行っていないのでスクールバスの絡みも出てくるかと思えます。

今後検討させていただけたらと思えます。

ト 今回の小学校の再編は人数が減ったから統合するのではなくて、誰もが通いたい、通わせたい、働きたい、関わりたい誇れる学校を美東につくりたいという思いでまとまってきていると思っていて、美祢市美東の将来のために、子供達が帰ってこれるふるさとを守るために、みんなで一緒に汗をかけたらなと思っています。

そのためには住めるところがちゃんと整備されていないと、他から入ってきてもらえるような学校をつくって欲しいという思いもあるので、市営住宅を住める状態にしてほしい。そのあたりも考えていただけたらと思います。

**回答：**しっかりと受け止めさせていただきたいと思います。

ナ 最初にいつも説明されるのが子供が減っていく話ばかりです。美祢市における美東の位置づけ、ワークショップとかで色々とやられているがそれがそうなるわけじゃない、10年度どうなるかという話は出てこない、これは学校だけじゃなく市の考え方だと思うが市としてのビジョンが必要だと思う。

小中一貫になることで学力が上がるというのは美東中を見ている限りではあたらないと思います。

魅力がある学校かという疑問があります。

どのように考えているのか教えてほしいです。

**回答：**美東地域については本市において地域拠点という位置づけで考えていますが、先ほどから話も出ておりますように市としては大規模な工事も続いているので色々とバランスを見ながら整備するようになると思います。

ニ 子育てで成功している自治体もある、過疎化と言われているがそうじゃないところも少なからずあります。

そういうことを一緒に考えていければと思います。

**回答：**今子供たちの育ち学びのカリキュラムを一緒になって考える場というのが出来ていて、学校運営協議会の熟議の中で美東中学校の生徒さんが入られてテーマが「美東小中学校で実現させたいこと」ということで活発な意見が交わされました。

話し合ったからすぐに良くなるというものではないのですが、教員もギアが上がる今までは小中の教員が一緒にというのがなかったが、一同が介してどうしていこうかという話し合いが始まっている。子供が主役になる学校を地域一帯でつくっていけるように教育委員会もバックアップしていきたいと考えています。

ヌ 現時点で決まっている事柄に、令和3年から美東小中学校になっているんですよね。

**回答：**それぞれの学校名はあるが、一体として指すときは美祢市立小中一貫教育校美東小中学校と呼ぶことができるという制度改正をしています。

ネ 美東小中学校になる時にたいして説明がなかったなというのと施設一体型について、秋芳桂花小学校をつくったときになぜ秋芳小中学校にしなかったのか何故あそこにあれをつくったのかと保護者の方も仰っている。

美東町に施設一体型を目指していると思われるんですが、小中では階段の高さ

も違う、学校全部をやり直さないといけませんよね。グラウンドも1つになるとあの広さで大丈夫なのかせっかく隣にあるのだから行き来すればよい、一つの建物にこだわる必要はないのではと思います。

部活動の地域移行化が進んでいるが、これを最終的にどこが管理するのか小中一貫化すればすごく大事なことだと思います。

吹奏楽を地域移行したら楽器は誰が買うのでしょうか。

美東中学校は部活動の地域移行のモデル校になっているが、Y A Bさんが取材に来られている中でトップの方が「公立中学校の部活なんてゆるゆるでいいんだから」と公共の電波で発言されていたが、これは裏を返せば部活を一生懸命やりたければ私立の中学校に行きなさいよという発言にもとれるので気になる。

**回答：**まず1点目の美東小中学校になる時の説明がなかったという事でございますが、これにつきましては仰られるとおりだと思います。学校運営協議会とかそういった場ではご説明申しあげているんですけれども、保護者の皆さん方に詳しい御説明を申し上げてなかったというのは反省すべき点なのかなというふうに思います。

それから2番目の施設一体型に何故取り組まなければならないのかという御質問ですが、御要望の中でもありましてやっていきたいなと思っております。

施設一体型のメリットですが、我々も視察等に行かせていただいて小中一貫を進めていく上ではやりやすいという声は聞いています。

隣接型でも歩いて行ける距離であればかなり充実したものができると思っておりますが、じゃあどちらがより良いかと言われれば一体型の方が色々な可能性が広がってくる、教員が一つの職員室の中で交流できるというメリットを感じると聞いております。

階段の高さについては仰いますように小中で高さの基準が違います。

これは基準は今では階段の床面に滑り止めをつけることと階段の両側に手すりを付けるような対策をとることで基準を満たしたことでできますよ、というような建築基準法の施行令があります。

秋芳桂花小の秋芳小中に何故という事ですが、当時は小中一貫というより小中連携教育というのを推進していたところでした。

そんな中、当時の嘉万小学校と別府小学校のP T Aの皆様方から小学校を一つにしようじゃないかとの要望がでてきまして秋芳桂花小学校になったという経緯がございます。

ノ 令和7年に新しい小学校始まるというのは確定でいいんでしょうか。

その場合に校名、校歌、校章、校旗全て新しくなりますよね、その2年後に新しい美東小中学校としてスタートするのであればその段階で新しい小中学校の校歌、校章が必要となってくる2年でそうなるのはもったいないのではないかと。

**回答：**山陽小野田に厚陽小中学校というのがございますが、設立当初は校歌はそのまま残しておりました。

3小学校が1つになって1つの小学校になったとしてもその小学校はあくまで新しい小学校で、規則により一体とした場合は美東小中学校と呼ぶことができるということであるので校名、校歌等は残ります。

美東中学校は昨年度においては今までになく不登校が多い状態で重大にとらえていましたが、全国的にもコロナ3年間で急激に増えているというのも事実でござ

ございますけれども、それだけでは済まされないと思っています。

今年度については美東中で新規に増えている報告は受けておりませんし、逆に改善傾向に向かっているという状態であるととらえています。

部活動の地域移行の方も美東中校区は取り組んでいただいております、前例のないものを手探りで地域の皆さんの協力を得ながら進めているような状態ですので旗振り役を市教育委員会がするしかない状況です。

吹奏楽については大嶺中と美東中しかないのですが、今は市の財政的な補助とこのことをしていただき、もっと公的な支援ができないか検討しています。

回答2：新しい校名、校歌、校章、校旗などを定めた場合はその後ずっと使っていきます。

ハ 部活動の地域移行改革は働き方改革が主体だと聞いているが、その犠牲者に子供がなるのだけは勘弁してもらいたいと思うところがあるのでそのあたりはよろしくをお願いします。

回答：ありがとうございました。

ヒ 今後、開校協議会で決めていくことや事前に必要なことなどを詳細に教えてほしい。スクールバスとか良く分からないので。

回答：今までの例で行くとPTA部会以外では教務部会に数名が入られていた実績があり総務部会にはPTAの参加がなく地域の方が入ったりしていました。

各部会でそれぞれ話し合っていていただくこととなりますが、スクールバス等は6年度中に協議して7年の4月から運行できるようにしていきます。

フ 何が何でも施設一体型をつくっていくことを進めていくということなのか。

分離型でもいいんじゃないかという声が多かったら分離型があるのかなのか、再考の余地があるのかなのか。

回答：教育委員会といたしましては皆様方から頂いた一体型の要望を受け止めさせていただいて、それがかなえられるように進めていきたいと考えています。

ヘ 跡地利用の話だが、学校が合併するとき合併した場合と合併しない場合の維持費の例を示された。

今は人口が減るとの話ばかりだが、もう少し広く見て考えてほしい。

回答：跡地利用に関してはまずは地元住民の御意向を最優先します。特に利用する予定がないよということであれば市の方で活用方法を考えていきます。

## (6) 質疑 (内容は (5) に溶け込ませていきます)

### 4 その他

#### (1) 今後について (教育総務課長)

それでは、再編に向けて、今後、どのように進んでいくのか、説明いたします。

お手元の資料6のスケジュール(案)をご覧ください。

表は左側が令和5年度で右側が令和7年度で年度末が継承・開校となります。

一番上の左側にある全体という項目ですが、6月に要望書提出、8月に保護者代表に回答、10月に学校運営協議会へ説明、そして10月下旬が各小学校単位で開催する今日の保護者説明会となっています。

保護者説明会が終わりますと11月下旬の地域説明会を各公民館単位で行う予定です。

それから下の項目で教育関係、PTA関係とありますが次の教育委員会の項目ですが、皆さんも関心がおありだと思います予算の小項目でスクールバスの事があります。

6月にスクールバス手上げとありますが、今回の件については令和7年4月以降はスクールバスによる通学支援を考えておりました、最大で25人乗りのバス2台を購入する予定としております。

これを令和6年度予算で購入し、令和6年度中に後で出てきます開校準備協議会の中で検討して令和7年4月から運行開始したいと考えています。

その下に「その他」とありますが、その下の太字のところが新設校準備の項目です。

上から組織の小項目ですが地域説明会が終わりますと、11月に開校準備委員会の設置要綱を制定いたします。

そして12月には委員を委嘱します。

その下の開校準備の項目ですが、1月には協議会を開き、それから下の各部会に分かれて各項目を決定していきます。

総務部会においては急ぐ必要があります。校名の決定をしていただき、その校名を以って先ほどの教育委員会の項目のところですが、教育委員会及び市議会で手続きして小中学校設置条例の改正を諮ります。

その後も総務部会では校章や校歌を決定していく予定です。

その下のPTA部会においてはスクールバスの調整やPTA組織の交流等を検討していきます。

その下の教務部会においては学校指定用品や交流事業について検討していきます。

その下の開・継承記念は開・継承記念事業の計画を検討していきます。

なお、開校準備協議会で話し合われた情報については、「協議会だより」という形で、地域の皆様方にもお知らせいたします。

それから下の分割された表が施設一体型関係になります。今現在ではカチッとしたものが決まっていますが、同時進行で協議を進めながら進めていきたいと考えています。

以上が主なスケジュールの説明でございます。

## (2) 跡地利用について（教育総務課長）

次に、学校の跡地利用の件になります。

資料は特にございませんが、今までの状況について説明します。

全体的に体育館及び運動場については、学校開放での利用実績や地域からの要望もあり、その後も引き続き地域の皆さんが使用できるよう、地域の体育館及び多目的広場として設置・管理しています。

体育館及び運動場と申しましたが、淳美小ではグリーンコースの検討も必要となります。

校舎については、地域の意向、地域での意見のとりまとめをお願いしています。各地域では、地域の方々が中心となって協議会を立ち上げられ、協議の場を設け、その結果について要望書を提出されています。

そして、多くの場合は、地域交流センターやコミュニティセンターとして活用されており、中には、桃木小学校のように山口県立宇部総合支援学校美祢分教室としての活用や、別府小学校のように別府公民館を移転させているところもあります。

最近では、重安小学校が令和3年度末までであったのですが、重安小学校については、地域の方々が「絆プロジェクト」というチームを構成され、記念事業や跡地利用について、協議を進められましたが良い案が見つかりませんでした。

跡地については給食センターの候補地として検討し、地元の合意も得られ、現在は令和6年度2学期の供用開始を目指して美祢市学校給食センターを建設中です。

この美東地域には、それぞれ公民館がありますので、地域としてはどうしたいか、又はどうあるべきか御検討いただきたいと思っています。学校跡地のあり方について、地域の思いをお知らせいただきたいと思っています。

なお、特に地域からの要望はないという場合もありますが、その場合、市の方で、利活用を考えます。美東地域の学校は比較的新しいので選択肢として考えにくいのですが、利活用ができないと判断したところは、解体について検討を進める場合もございます。

再編後の校舎等につきましては、市の公共施設のあり方についての基本的な方針や各種施策との整合を図りながら、地域の要望を踏まえ、跡地利用を考えて参りたいと思います。

説明は以上となります。